

『人生凸凹』



わがままだった保育園時代

保育園では、先生たちに駄々をこねてた。いま振り返ると申し訳なかったと思う。運動、図工が自分の気分と合わないと感じてた。（逃げていたのはこういう気分じゃないと感じたから。）逃げてても同じクラスの女子に連れ戻されてた。

いじめの対象になっていた低学年時代

小1から支援級に所属した。反りの合わないジャイアントタイプの人々が学級にいて、いじめられた。その人には、取り巻きもいた。自分からはいじめられていたことを先生に相談しなかった。相談したら火に油を注ぐと思ってできなかった。周りの人の名前を覚えられず、自分が思っていることを大人に伝えることが難しかった。一度ジャイアントタイプのクラスメイトに「その考え方はまちがっている」と言ったら逆ギレされた。

2年生になり、いじめが過激になり暗くなったと思う。ランドセルをバス停に投げられて、殴られたことがあった。その時は、児童館から学校へ連絡があり、いったん収まった。いじめっ子の取り巻きは徐々に引いていった。後から聞いた話では、いじめっ子は、精神が参っていて、自分に八つ当たりされたと思う。

いじめと向き合ってくれる担任との出会いが転機になりチャレンジする自分になった

4年生の時の担任の先生がいじめにちゃんと向き合ってくれて、気持ちを落ち着ける具体的な方法を教えてくれた。おかげさまで、暴力には走らなかったと思う。ジャイアントタイプのいじめ相手は転校した。

5年生になり、上級生としての行事参加もあり、やらなければいけないことが増え責任を感じた。バドミントンのクラブ活動を頑張っていた。

6年生になった。学校の文化祭で合奏で木琴を演奏し、大絶賛をうけた。この経験が成功体験になったと思う。行事など興味があることを実践できることが増え、毎日楽しかった。

役割をもらい楽しかった中学校時代

中学は支援級だった。担任の9割が体育会系で、週4～5回体育があった。バドミントン、かけっこ、バスケット、サッカー、ソフトボール、バレー、プール、柔道、やっている間に段々楽しくなった。

月に2～3回、放課後に、図書室で「読書カフェ」があった。飲みながら本を読める時間だった。「読書カフェ」に通うようになって本が好きになった。特に歴史系の漫画の三国志がお気に入りだった。

美術の先生に絵を褒められた。美術展に応募したら、なんと特別賞に選ばれた。

特別支援級の生徒を集めて、バスケット大会、合奏、劇があった。（保護者+他校の人がお客さん）。劇の本番直前に主役が風邪になり、リハーサルで急に代役に任命された（小道具係で練習を見ていたのでセリフを覚えていた）。うれしかった。周りからありがとうと言われた。小道具の時に「タイミングを合わせて道具の出し入れが必要だから、役の人たちを見て」とアドバイスをされたのを覚えている。

合同の劇の先生は、（自分の学校の）演劇部の顧問で、その後部活に誘われた。演劇部に入部して、代役の時にセリフを覚えていたのが印象的だった。誰かに良い印象を持ってもらえるのはうれしい。劇や人前に出ることが好きだった。自分でない他人を演じてみたかった。3学期の劇では主役ができた！楽しかった。高校は塾に行ったり忙しかったので、午後に残れず演劇部に入れなかった。大学に入った後？にやってみたい気がする

職業訓練（掃除）では、いろんな掃除器具の使い方を習った。モップを初めて使った。小学校の時と比べて楽しかった。

良くも悪くも最高の青春だった高校時代

高校を選んだ決め手となったのは、自分としては小学校の時に学校を楽しめなかったので、学生生活が楽しめる学校に行きたいと思ったこと。通学して、就職を目指すわけではなく勉強できる高校が良かった。

自分みたいな（軽度知的障害）人も行けるサポート校があった。丁度いい場所を見つけた。 コロナの世の中になってしまったので1年生で行けたのは7月～(ノ)ｼｯｼ...

とりあえず授業についていこう！授業は難しかったので塾に行き始めた。高校生活は勉強が中心だった。

2年になり、ある程度学生生活が送れるようになった。勉強は変わらず難しかった。一方で、楽しみもあった。遊園地に行ったバス旅行は、楽しかった。文化祭は、この時は教室を飾るかたちだった。写真用のスポットを作るくらいしかできなかった。2年の文化祭で、自分のクラスはジブリの作品の場面を再現した。

3年になってちゃんとした宿泊旅行が出来るようになった！**初めての飛行機（まあ映画と一緒に）で初めて沖縄に行った！楽しいの一点張り、** ちゅうらうみ水族館で、ジンベイザメの餌やりを見たり。マリンスポーツ（シーカヤック、シュノーケル）を初体験した。中でもカヤックが一番だった。

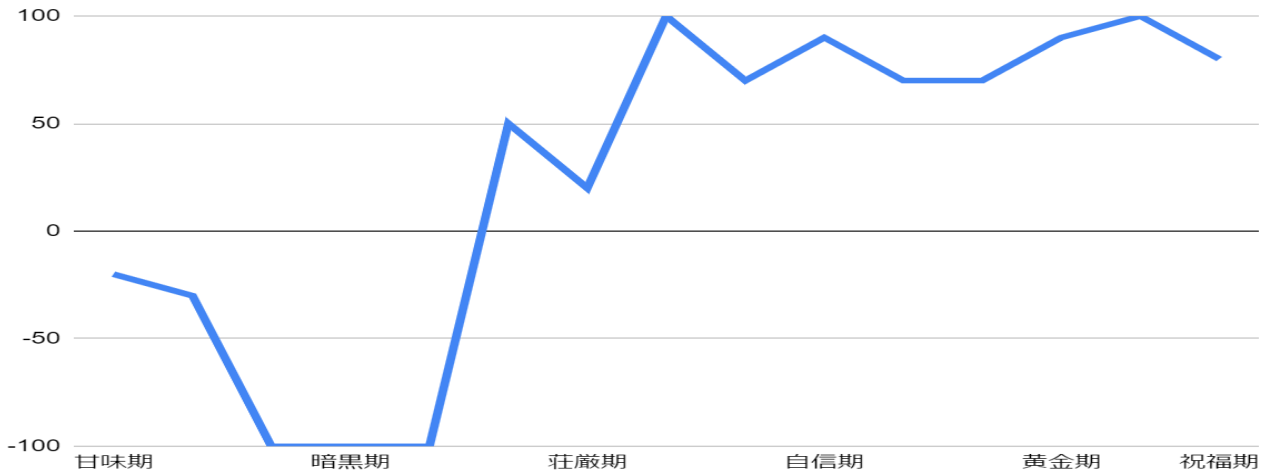
これからのじぶん

自己管理が出来る人になりたい。

大学は心理学部を選んだ。ポンと決めたわけではないが、他人と関わる仕事をしたいくて、カウンセラーになりたいと思った。また、**自分の特性にあった配慮をしてくれる大学を探した。** 候補が2つあったが、取れる科目の量が多く、また設備が充実した大学に入学を決めた。

心理士に必ずなれるわけでは無いので、**他の事の知識も獲得しつつ、他の職業もその都度視野に入れていきたい。**

18年間のモチベーショングラフ



H.Nさん 公立小（支援級）⇒公立中（支援級）⇒通信制サポート校⇒私立大学（心理学部）進学予定

利用時期：小6～高3

参加プログラム：週1日の個別セッション、お仕事体験（一般コース、ユーザーコース）

TEENSで行っていたこと：学校の課題、塾の課題等、ゲーム、オンライン講座でライフスキル、ゲーム大会、

長所：思いやりがある、リラックスできる

過去の自分に一言：甘ったれるな、残り物には福がある

TEENSの後輩に一言：いま自分がやれることをちゃんとやれば、自ずと自分を知ることができる。